

## 目標達成計画

作成日: 平成 24年 3月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		理念の共有と実践	基本理念を職員が把握し、その意義の徹底を図る	地域密着型サービスを踏まえ、朝夕の引き継ぎ時に職員が復唱して確認し合っている。	12ヶ月
2		事業所と地域のつきあい	地域の方々に広くホームを知って頂き、いつも協力を得られる様、事業所・職員も進んで外に出て行き、交流を図る。	太極拳・ハーモニカ・三味線等のボランティアが毎月訪れ、交流を計っているが、昨年から地域公民館にて職員と出かけられる利用者様2・3名と一緒に筋力トレーニングに参加している。	12ヶ月
3		運営推進会議	運営推進会議を活かした取り組み	2ヶ月に一度行われる。ホームからの報告をし、参加頂いている市や包括支援センターの職員、入居者の御家族、地域の方に気づいた事、また希望される事を話しやすい会議としていく。	12ヶ月
4		重度化や終末期に向けた方針	将来に備えて、重度化・終末期の方針や看取り等の体制づくり	重度化した場合には家族に早期連絡を取り、利用者様に適した医療関係の紹介・説明。看取りを希望される場合は、家族医師等と連携・協力関係を踏まえた介護を行う。	12ヶ月
5		日常的な外出支援	一人ひとり、その日の希望にそって、戸外に出かけられる様、支援に努める。	陽気の良い時は、毎日散歩に出かけて気分転換を計りたい。 買い物に行きたい人には、スーパー等と一緒にいく等支援して行きたい。 月に一度の外食行事。	12ヶ月